

視覚器

■角膜、水晶体、硝子体は光を通す（ ）器であり、外界の像を網膜上に（ ）として映し出す。

■眼球を覆う膜は外側から（ ）、（ ）、（ ）の3層がある。

■角膜は強膜の一部であるが透明で、ここには（ ）が存在しない。

■眼球に入る光の量を調整するのは（ ）で、その中にある副交感神経支配の（ ）と交感神経支配の（ ）によって瞳孔の大きさを変化させる。

■虹彩に囲まれた部位が（ ）である。

■角膜の後ろに（ ）があり、虹彩の後ろに（ ）があり、そこに眼房水を入れる。

■眼内圧とは前眼房、後眼房にある（ ）の圧のことである。（ ）では眼内圧が亢進する。

■カメラのレンズに相当し、焦点を調整するところが（ ）であり、動眼神経支配の（ ）によって厚みが調整される。

■水晶体の厚みの調整が障害され、網膜より（ ）に結像するのが近視で、（ ）に結像するのが遠視である。

■加齢等によって水晶体が白濁する病気が（ ）である。

■網膜の視細胞には（ ）と（ ）がある。

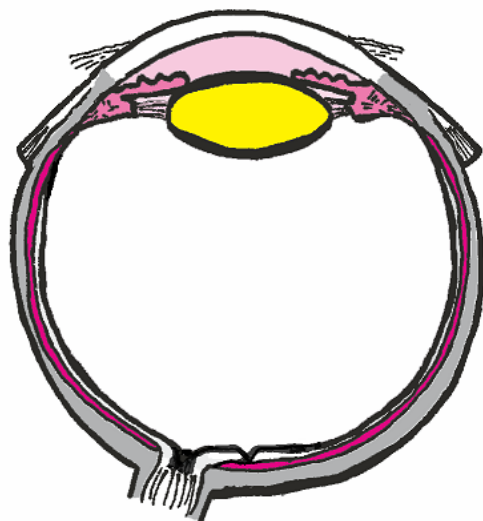
■錐体細胞は、明るいところで色覚や形を感知するため（ ）といい、（ ）に参与する。

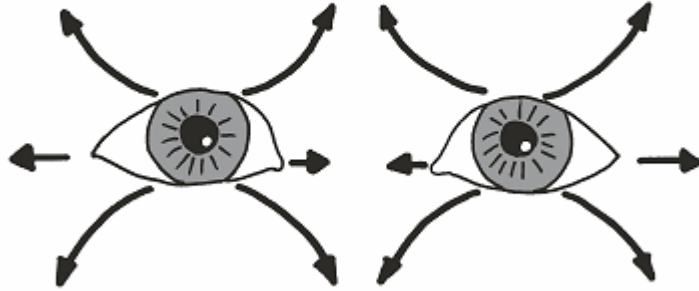
■杆体細胞は明暗を感知するため（ ）といい、（ ）に参与する。

■錐体細胞は網膜の（ ）に多く、特にその中心の（ ）では錐体細胞のみとなり、視力に関係する。

■杆体細胞は網膜の（ ）に多い。

■視神経が入り込むところを（ ）といい、眼球後面のやや（ ）側にある。ここは網膜（視細胞）を欠くため（ ）となる。





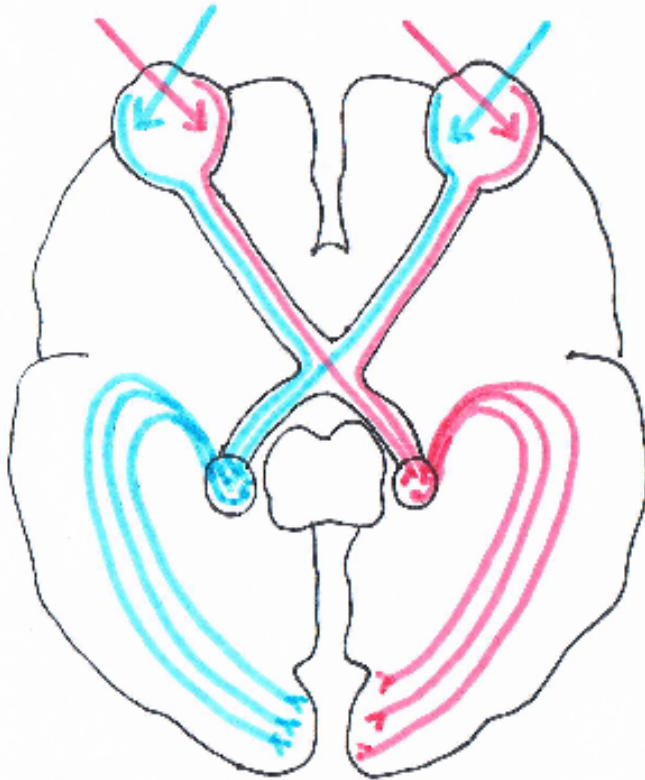
■外眼筋は()神経が支配する外側直筋、()神経が支配する上斜筋、()神経が支配する上直筋、下直筋、内側直筋、下斜筋の6つからなる。

■動眼神経は瞼をあげる(目を開ける)()筋も支配している。

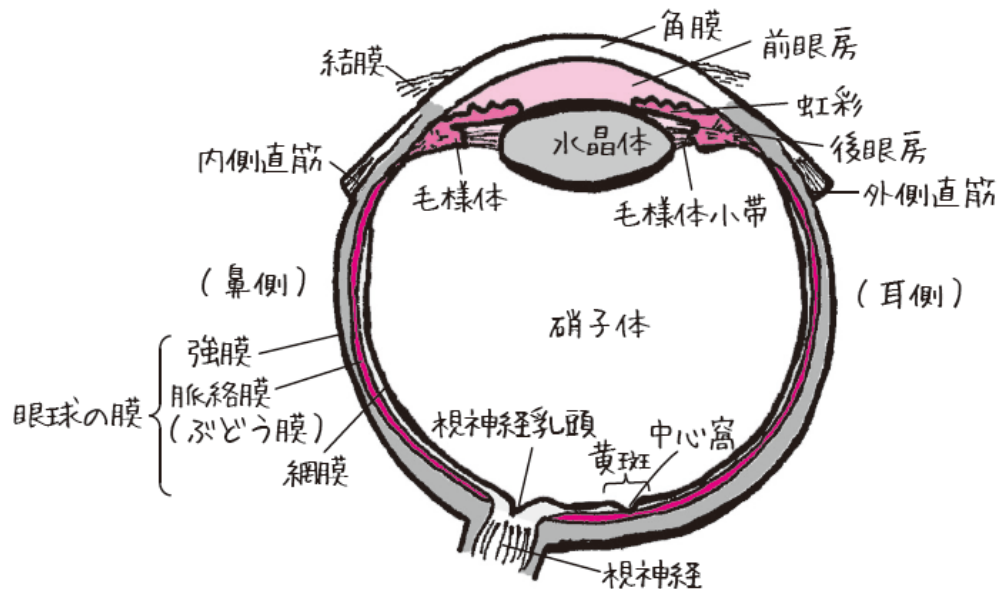
■右側の視野からの情報は、左右の網膜の()に、左視野からの情報は()に映し出される。

■左右の眼球から出た視神経は、トルコ鞍(下垂体)の上方で()し、()となり視床の()でシナプスを形成する。外側膝状態からは、()となり側頭葉の深部を通り、()へ入力する。

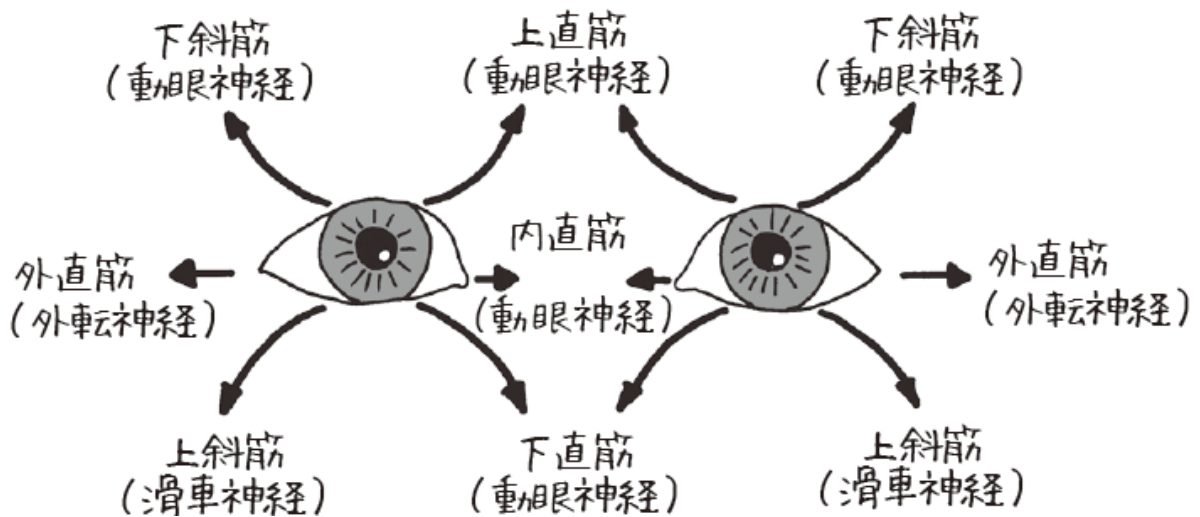
■左右の眼球に入る右視野からの視覚情報は、()後頭葉へ、左視野からの視覚情報は()後頭葉へ入ることになる。



視覚器



- 角膜、水晶体、硝子体は光を通す（**透光**）器であり、外界の像を網膜上に（**倒立像**）として映し出す。
- 眼球を覆う膜は外側から（**外膜：強膜と角膜**）、（**中膜：脈絡膜（ぶどう膜）**）、（**内膜：網膜**）の3層がある。
- 角膜は強膜の一部であるが透明で、ここには（**血管**）が存在しない。
- 眼球に入る光の量を調整するのは（**虹彩**）で、その中にある副交感神経支配の（**瞳孔括約筋**）と交感神経支配の（**瞳孔散大筋**）によって瞳孔の大きさを变化させる。
- 虹彩に囲まれた部位が（**瞳孔**）である。
- 角膜の後ろに（**前眼房**）があり、虹彩の後ろに（**後眼房**）があり、そこに眼房水を入れる。
- 眼内圧とは前眼房、後眼房にある（**眼房水**）の圧のことである。（**緑内障**）では眼内圧が亢進する。
- カメラのレンズに相当し、焦点を調整するところが（**水晶体**）であり、動眼神経支配の（**毛様体筋**）によって厚みが調整される。
- 水晶体の厚みの調整が障害され、網膜より（**前**）に結像するのが近視で、（**後ろ**）に結像するのが遠視である。
- 加齢等によって水晶体が白濁する病気が（**白内障**）である。
- 網膜の視細胞には（**錐体細胞**）と（**杆体細胞**）がある。
- 錐体細胞は、明るいところで色覚や形を感知するため（**明所視**）といい、（**中心視野**）に関与する。
- 杆体細胞は明暗を感知するため（**暗所視**）といい、（**周辺視野**）に関与する。
- 錐体細胞は網膜の（**黄斑部**）に多く、特にその中心の（**中心窩**）では錐体細胞のみとなり、視力に関係する。
- 杆体細胞は網膜の（**周辺部**）に多い。
- 視神経が入り込むところを（**視神経乳頭**）といい、眼球後面のやや（**鼻**）側にある。ここは網膜（視細胞）を欠くため（**盲点**）となる。



- 外眼筋は（ 外転 ）神経が支配する外側直筋、（ 滑車 ）神経が支配する上斜筋、（ 動眼 ）神経が支配する上直筋、下直筋、内側直筋、下斜筋の6つからなる。
- 動眼神経は瞼をあげる（目を開ける）（ 上眼瞼挙 ）筋も支配している。
- 右側の視野からの情報は、左右の網膜の（ 左側 ）に、左視野からの情報は（ 右側 ）に映し出される。
- 左右の眼球から出た視神経は、トルコ鞍（下垂体）の上方で（ 交叉し（視神経交叉） ）、（ 視索 ）となり視床の（ 外側膝状体 ）でシナプスを形成する。外側膝状体からは、（ 視放線 ）となり側頭葉の深部を通り、（ 後頭葉の第一次視覚野 ）へ入力する。
- 左右の眼球に入る右視野からの視覚情報は、（ 左 ）後頭葉へ、左視野からの視覚情報は（ 右 ）後頭葉へ入ることになる。

